

The UNIFORM

内閣府認定 公益財団法人
日本ユニフォームセンター

NUC®

第57巻3号 通巻607

2025 夏号 *Summer*

NUC® 公益事業報告

特集 2025年大阪・関西万博 ユニフォームレポート



トピックス
令和7年度関係者名簿
事業計画
事務局ニュース

特集

2025年大阪・関西万博 ユニフォームレポート

2025年4月13日から10月13日まで、大阪・夢洲（ゆめしま）で開催されている大阪・関西万博。国内外から様々な組織が参加し、今博のテーマである“いのち輝く未来社会のデザイン”を描いています。

今回のThe UNIFORM夏号では、海外パビリオン以外を中心に、会場および各パビリオンでアテンダント・スタッフの皆さんが着用する多種多彩なユニフォームをご紹介するとともに、「万博ユニフォームハイライト」としてその特徴と傾向をまとめました。

公式スタッフ・ボランティア	P2
国内パビリオン・国連パビリオン	P3
関西パビリオン	P4～5
レストラン・ショップ	P5
シグネチャーパビリオン	P6～7
民間パビリオン 東ゲートゾーン	P8～9
民間パビリオン 西ゲートゾーン	P9～11
万博ユニフォームハイライト	P12

公式スタッフ・ボランティア

①無彩色をベースに、SDGsカラーを意識した赤・青・緑のインナーを着用。折り重なるようなベストは樹木の豊かさや生命の力強さを感じさせ、テーマである「いのち」を表現している。男女差をなくし、男性もロングスカートを着用できるスタイル。丈を長くし、裾は着物のように広がりすぎない仕様となっている。胸元にプリントされた「ミャクミャク」もポイント。

②黒と、赤・青・緑いずれかの組み合わせで斜めに大きく切り替えた3色展開のポロシャツ。アウターは青を基調とし、グレーで縦方向に大きく切り替えたデザインに。グレーのパンツを合わせた上下のユニフォームは堆肥に生まれ変わる素材を使用。グレーのキャップはヨシを使った生地を使用しており、SDGs達成への貢献をめざす大阪・関西万博の理念に沿ったユニフォーム。

③SDGsの目標の一つである「パートナーシップで目標を達成しよう」のカラーであるネイビーを基調としたTシャツと同じ色合いのベスト、ハットの他、バッグがセット。老若男女問わず、どなたでもすっきりと着こなせるデザイン。

①・②・③のユニフォームは、大阪・関西万博でシニアアドバイザーを務めるコシノジュンコ氏の助言も受け完成している。



デザイン：服部真理子 氏

国内パビリオン・国連パビリオン



デザイン：クリエイティブディレクター 中田優也 氏

デザイン：小出真人 氏

①日本館の装いは日本の感覚を元に、着心地、動きやすさ、暑さ対策などの機能性とモノマテリアル、美しさを両立したデザイン。統一感がありながら、身に纏う人の個性が引き出せるようなシンプルで雰囲気のあるユニフォームで、着物のような平面的な構造に帯状のベルトを締め着用する。風呂敷で持ち運べるという、日本の文化を感じられる工夫も。

②パビリオンテーマの「REBORN」から着想を得たデザイン。ロゴのタマゴや大阪を象徴する水のイメージを曲線的なラインやフォルムで表現し、色彩は水や植物、自然との調和を表すグラデーションが取り入れられている。アイテムはすべて男女共通で衣替えもなく、着用者が各自柔軟に組み合わせられる仕様となっている。

③ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartierでは、調和とモダニティを表現したユニフォームとなっている。パンツ、帽子、サコッシュは男女共通のデザイン。女性は大きなパフスリーブ、男性は裾のドローストリングが特徴である。

④ユニクロがユニフォームを提供。国連パビリオンにとけこむ伝統的なプレッピースタイルをベースに、シルエットやディテール、素材感にこだわったデザイン。美しく快適に仕事ができるよう上質で機能的な素材を採用し、軽量、伸縮、速乾性のある快適な着心地を実現した。ジャケットの胸元には難民による手工芸品ブランド「MADE51」が手掛けた国連パビリオンロゴワッペンがあしらわれている。



ウーマンズ パビリオン



#UNForABetterFuture

国連パビリオン

デザイン：「sacai」デザイナー兼クリエイティブディレクター阿部千登勢氏
Yuta Kono ©Cartier

関西パビリオン

関西広域連合が主体となって出展しており、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県と関西広域連合連携団体である福井県および三重県が参加。各府県の出展テーマや名産品、地場織物など地域性豊かなユニフォームが着用されている。



- ① 関西パビリオン 「関西の多彩な多様性」をコンセプトに、色とりどりのエネルギーが放出される姿を表している。各府県を表した9つの色を取り入れた四角模様は、わくわく・笑顔があふれだす！ポップで楽しい様子を印象付けている。
- ② 滋賀県 白のボロシャツにアクセントとしてびわ湖をイメージした水色が取り入れられている。ストールには滋賀県の地場産品「高島ちぢみ」を使用。シボ（凹凸）のある綿織物で、夏場も快適に過ごすことができる。
- ③ 京都府 トレンチコート風のジャケットにワイドパンツを合わせたスタイル。京瓦を敷きつめた京都ゾーンに馴染むデザイン。
- ④ 兵庫県 兵庫県が大阪・関西万博を機に展開する、地域の現場を体験する取組み「ひょうごフィールドパビリオン」のロゴが背面に大きく入ったボロシャツをベースとし、県産品の播州織スカーフ（神戸タータンデザイン）及び豊岡鞄のポーチをあしらっている。
- ⑤ 和歌山県 100年以上の歴史ある丸編みニットの産地である和歌山は、地場産業である「和歌山ニット」の特徴、柔らかい風合いを活かした上質なリラックスタス感と統一感を纏ったユニフォーム。そこに肌触りのよい「高野口パイル」のバッグを合わせたスタイル。



レストラン&ショップ



レストラン水空



セブン・イレブン

左：ファッションブランド「minä perhonen」（ミナ ペルホネン）のデザイナー皆川 明氏が担当。「水空 SUIKUU」のためにイチから作られたテキスタイルを使用し、“高原レストラン”という店のテーマにぴったりな、水と空を泳ぐ光のようなデザイン。ブランドを代表する図案“tambourine（タンパリン）”の刺繡があしらわれている。

右：ファッションデザイナー中田優也氏がデザイン、クリエイティビティレクター佐藤可士和氏が監修。コーポレートカラーであるオレンジ・レッド・グリーンを使用し、“セブン・イレブンらしさ”を表現している。素材には、古くなったユニフォームを4%以上、回収ペットボトルを96%以下使用して新しいユニフォームに再生させる“ユニフォームtoユニフォーム”を実現した。

⑥鳥取県 鳥取砂丘をイメージしたベージュカラーのベストに同色系のパンツを合わせたスタイル。アクセントとしてグリーンのベレー帽と靴下、そして鳥取県障がい者アート団体制作の作品デザインがプリントされたスカーフを取り入れられている。

⑦徳島県 伝統的な天然染料の阿波藍で染め、杉の間伐材から生まれた新素材「KINOFU」を採用したユニフォーム。藍師・染師集団「BUAISOU」がデザインおよび染色を手掛けた。コンセプトは、～徳島の歴史、自然、未来、全てに「感謝」を込めて～。ユニフォームの名称は、「渦渦潮乱舞鯛紋様染法被」。

⑧福井県 「恐竜王国福井」をテーマとする福井県ゾーンでは、化石発掘調査員をイメージしたデザインとなっている。化石発掘調査員らしい上下カーキのサファリルック。ワッペンは、日本で初めて新種として報告された恐竜「フクイラブトル」の頭骨のシルエットを使い、恐竜王国福井を表現している。

⑨三重県 インバウンドにも人気高く、三重県の魅力的なコンテンツである「忍者」をコンセプトに、県章カラーのグリーンを基調としたグラデーション仕様。左胸に県がPR事業で使用する「美し国みえ」のロゴマークがあしらわれ、背面にもロゴタイプをデザインしている。



パビリオン

万博会場の中心に位置する8館で構成された「シグネチャーパビリオン」。これは、日本を代表し幅広い分野で活躍する各界のトップランナーである8名のクリエーターが各館のプロデューサーとなり、テーマ別に展開するパビリオン。それぞれの8つの視点から、大阪・関西万博のテーマである“いのち輝く未来社会のデザイン”を表現している。



企画・デザイン：キャラクターデザイナー江端里沙 氏



企画・デザイン：ファッショングループ「minä perhonen」

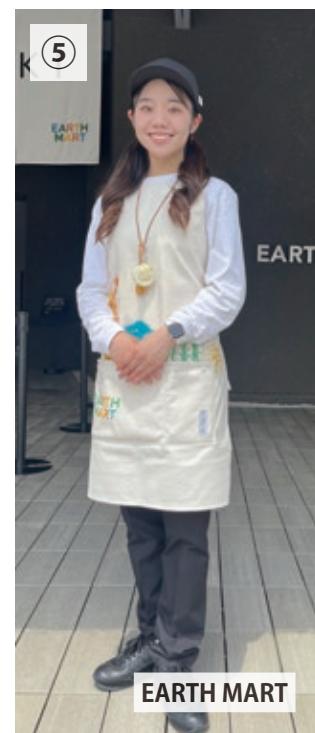
- ①パビリオンのテーマは「いのちを育む」。この言葉には、「大切に守りながら成長を支える」という想いが込められ、教育の象徴である学生服をモチーフにしたアテンダント用ユニフォーム（中央）を採用。スタッフ（両脇）は、GOTS認証オーガニックコットン100%のワッフル素材Tシャツを着用。胸元には、パビリオンロゴが刺繍されおり、夏は背面、帽子の中は保冷剤が入る仕様。
- ②「Dialogue Theater - いのちのあかし -」のロゴである吹き出しのモチーフによって、多様な対話が飛び交うパビリオンのあたたかく楽しげな雰囲気を表現。バンダナやメイクでも装いをアレンジできる、多様性や個性を尊重したデザイン。コートジャケットの素材はオリジナルのジャガード織りが採用された。
- ③「形ある物が絶えず移ろい続けるありさま」を意味する「IMPERMANENCE」がユニフォームテーマ。通気性や遮熱性に優れた新素材を採用し、ファスナーの開閉で通気を調整できるなど、すべてが屋外のパビリオンでも長時間にわたり快適に過ごせるようになっている。
- ④「null」は仏教でいう「空」に近い概要を表すことから、僧侶の袈裟にインスピレーションを受けたデザイン。黒を基調としたコートは、割れた液晶をイメージした模様があしらわれている。



Better Co-Being



null²



EARTH MART

企画・デザイン：中里唯馬 氏 製作：株式会社ゴールドワイン

企画・デザイン：「FACETASM」デザイナー落合宏理 氏

企画・デザイン：アートディレクター八木保 氏

シグネチャー



デザイン・製作：株式会社モンベル

- ⑤「空想のスーパーマーケット」をモチーフとするEARTH MARTでは様々な野菜がカラフルに描かれた帆布のエプロンがユニフォームのメインアイテム。エプロンの製作は京都の一澤信三郎帆布が担当。Tシャツは写真の白と、オリーブグリーンの2色展開。
- ⑥パビリオンの館名にもなっている「動的平衡」の考え方を表現し、構造色（物体自体は色を持たず、表面構造により特定の波長の光反射により見える色）をイメージした青色を基調とした美しいグラデーションが特徴的。
- ⑦黒を基調としたアウターとポロシャツに、バックプリントでパビリオンのロゴが描かれたシンプルなデザイン。
- ⑧多様性と創造性の象徴として一着ずつ全て異なる柄行きのクラゲ柄を採用。スタッフ（左）はジャケットあり、アテンダント（右）はカラフルなインナーなど一定のルールのもとスタイルリングは自由にアレンジが可能。高機能素材を採用し、通気性や快適性も重視している。
- ⑨【静けさの森】静けさの森は会場中央に位置し、森全体を舞台とした多様なアート体験の場。案内人となるアートプロジェクトスタッフは、森に馴染み、映える色彩のユニフォームデザインが採用されている。



共同製作：プロデューサー中島さち子 氏、ミズノ株式会社



住友館

デザイン:「YOHEI OHNO」デザイナー大野陽平 氏

森や自然、いのちをテーマにした住友館から着想を受けつつ、ユニフォームとしての機能性を保ちながら分量感のあるブリーツを採用するなど「YOHEI OHNO」らしいスタイル。素材には、住友化学が開発した吸熱と放熱の特性を併せ持つ温度調整機能樹脂「コンフォーマ[®]」など住友グループの各種技術が取り入れられている。



NTT パビリオン

デザイン:「ANREALAGE」デザイナー森永邦彦 氏

パビリオンのコンセプト『PARALLEL TRAVEL』に共鳴し、服を通じて時空を旅し、遠くの存在とつながる体験を創出。物質ではなく、風のような非物質的な感覚を纏う「空調服[®]」で、曖昧な輪郭の中で人々をつなぐ“クラウド”的な抽象的なシルエットを生み出している。大きさ・色の異なる点群模様にも繋がりを意識した意味が込められている。



三菱未来館 可能性のタマゴたち

デザイン:成清良太 氏

パビリオンの外観との親和性を重視し、グレーをメインとしたモノトーンカラー、さまざまな形の平面を組み合わせた「ボロノイ構造」を取り入れている。シャツは生地の裁断位置によって模様の出方が異なる特徴があり、多様なスタッフがそれぞれ異なる表情のユニフォームをまとうことで「可能性」を表現している。



デザイン:山本友美 氏

「未知なる深海から遙かなる宇宙へ、いのちを巡る壮大な旅」を表現。肩から流れるラインで「水の流れ」を表したベストは、火星のベージュ、深海の黒鉄色など4色展開。ジェンダーレスで自由なスタイリングが可能で動きやすく、来場者とのコミュニケーションも取りやすい視認性の高いデザインとなっている。閉幕後はバッグへアップサイクルされる。

民間 パビリオン

東
ゲートゾーン



西 ゲートゾーン



©創通・サンライズ

宇宙への旅が一般的になった未来という設定のもと、来場者の宇宙の旅に寄り添うクルーをイメージしデザインされた。ポンチョのような上着と長袖インナー、イエローのパンツコーデのユニフォーム。ユニセックス仕様で、写真のほかにも半袖のデザイントップスがあり、帽子はキャップとベレー帽の2種用意されている。

「ノモの国」の住人として来場者を案内するスタッフは、「モノの捉え方はココロの持ちようで大きく変わる」体験を提供。「人によって見方が変わるデザイン」を採用し、見る角度や着こなしによって色合いや形が変化する新感覚のデザインとなっている。インクルーシブや暑熱対策など、使い心地にも配慮されている。



使用済み漁網を原材料として再生された素材を使用したTシャツタイプのユニフォームで、フィッシング用品ブランド「DAIWA」が制作。高温多湿な期間であることを考慮し、通気性が良く汗離れの良いメッシュ生地を採用した。スタッフは写真のブラック、イベントなどに出演する吉本興業のタレントは色違いのオレンジ色を着用している。



(左：接遇スタッフ) おばけの丸みをイメージした白いケープに、黒のガウチョレイヤードパンツを合わせたデザイン。落ち着いた色の組み合わせと、ケープから飛び出したアクセントカラーのポケットが特徴。両スタッフともおばけの「ミッキー」とお揃いの黒い帽子を着用している。

(右：運営スタッフ) おばけワンダーランドの世界観にあわせ、カラーシャツにふんわりとしたシルエットのオーバーオールを着用したユニフォーム。おばけたちのイメージカラー（全7色）にあわせたシャツはカラーバリエーションも豊富。オーバーオールはジェンダーレスを意識し、スカートとパンツのどちらでも着用が可能。裾のドローコードで自在にアレンジすることもできる。



デザイン：オートクチュールデザイナー藤本ハルミ 氏

(左：VIPアテンダント) 97歳の現役デザイナー藤本氏によるオートクチュールドレスは、日本の伝統的な和装から仕立て直し。京都・祇園祭の山鉾（やまほこ）巡行が描かれた『祇園山鉾』や、120年以上続く伝統の「龍村の帯」を使用した『美のアルカディア』など、製作されたドレス20着はすべて異なるデザインとなっている。

(右：パビリオンアテンダント) 伝統と未来を融合し、パビリオンのテーマと調和するデザイン。ベストにはアンモナイトの螺旋を取り入れ、生命の進化のつながりを象徴。淡い色合いと金の装飾、伝統的な着物生地のアクセントで洗練された印象。パソナグループの社員によるデザインを採用した。

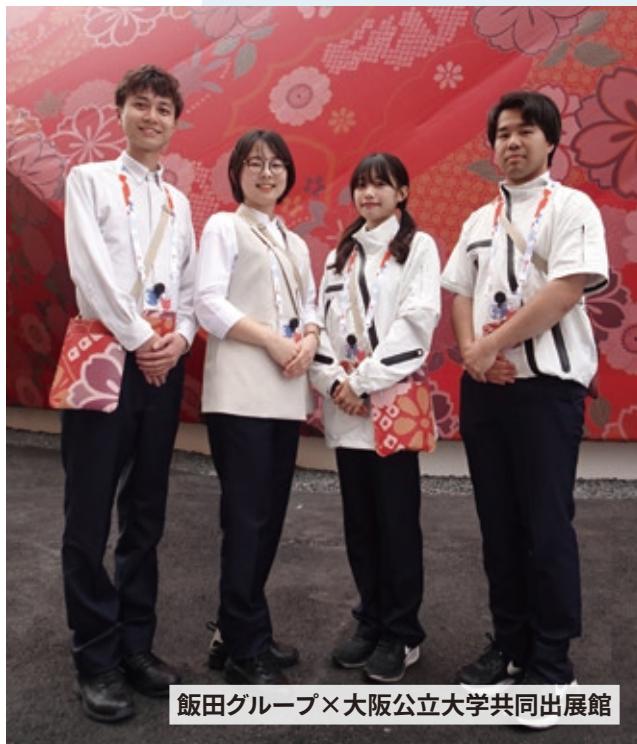


「熱き想いを纏う（まとう）」をコンセプトにデザイン。1990年代～2000年代初頭にファストフードやレストランチェーン店でユニフォームとして着用され、「外食産業」のイメージがあるワークシャツを採用。視認性の高い「赤・青・黄」を使用しており、各色が与える印象も考慮している。真っ赤なスカーフは首元や頭など、各スタッフが自由に着用することができる。



デザイン：津村耕佑 氏（ベストのみ）

海にちなんだネイビーカラーが基調。ベストは魚のヒレのようなあしらいを施した取り外し可能なポケットが特徴で、会期終了後も海に関わる人々を中心に永く活用できる機能性をもたせたデザインになっている。ブルーのジャケットにはシルバーのボタンと胸元にある赤色の枠の上にBLUE OCEAN DOMEのロゴが配置され、デザインのアクセントとなっている。



過去と未来をつなぐ時間軸を表現したパビリオンの外装の西陣織と同じ模様のバッグ、バスケースがポイント。ユニフォームは西陣織の模様が映えるシンプルな配色。アテンダントスタッフ（左）が着用するベストはベージュ色、運営スタッフ（右）の長袖が取り外せるアウターは白を基調とし、黒の止水ファスナーが効果的に散りばめられたデザイン。



デザイン：廖佳琳 氏

タフで生命感あふれる台湾らしさを表現するため、タイワニンギモチーフに、デッサン風の絵柄をデジタルプリント。全体像は台湾の自然探索家をイメージ。生地にはトウモロコシの繊維と嘉義（かぎ）産のカキ殻から作られた再生糸を使用。オールメイドイン台湾のユニフォームとなっている。上着（左）は両袖が取り外し可能でベストとしても着用できる。

万博ユニフォーム ハイライト

今回のユニフォームレポートでは、日本国内を中心とした各パビリオンの様々なユニフォームを紹介しました。

多種多彩なデザインが出揃うなかで、「環境配慮」や個性を尊重する「多様性」などがキーワードとなり、これから的是非のユニフォームの在り方を予感させます。

開催国として魅せた「日本らしさ」も交え、「いのち輝く未来社会のデザイン」の万博テーマのもとに、未来につながる今博ユニフォームの特徴・傾向をまとめました。

1. 環境配慮

今博の主催者である博覧会協会においては、近年の国家事業イベントと同様に、環境配慮に限らず、広く持続可能性に配慮した調達コードのもと、ユニフォームのものづくりが進められました。パビリオン出展者に対しても、同様の配慮が求められています。

まずは環境に配慮された原材料として、[植物由来ポリエステル](#)（公式スタッフの一部、日本館、ノモの国他）や日本国内で回収された使用済ペットボトル（公式スタッフの一部、日本館、住友館他）、使用済み漁網（よしもと）や廃漁網（NTT他）、カキの殻（TECH WORLD）などを用いた[リサイクル纖維](#)の採用が多く見られました。加工の面でも水の使用量を限りなく抑えたプリント技術（宮田館、NTT他）の採用や洗濯時の水・洗剤の使用量を削減できる防汚、もしくは汚れが落ちやすい素材も。

これに加えて使用後の易リサイクルを見据えた[モノマテリアル設計](#)（日本館、大阪PV、他）や[生分解](#)が可能な素材（運営スタッフ他）、[アップサイクル](#)しバッグ（三菱未来館）にする、この他にも新たな製品に生まれ変わらせるなどの企画は様々で、公式スタッフ、日本館、大阪ヘルスケアパビリオンでは、すべてのウェアアイテムがリサイクルされる予定であることが発表されています。

2. 多様性

[ジェンダーフリー](#)を意識した男女兼用のアイテムや、豊富な色展開、小物を自由に組み合わせて選択することを可能にし、個人の[自由な着こなし](#)を尊重する「[多様性](#)」というキーワードが目立ちました。

70年の大阪万博は日本のファッショントレンド界に大きな影響を与え、「ユニフォーム元年」と呼ばれるように制服の在り方を変える契機にもなったと言われます。2025年博も、これから転換の契機となり得るのでしょうか。70年博の一般来場者を案内するアテンダントは若い女性が着用することを前提としたデザインで、ミニ丈のスカートやワンピースなど、身体にフィットしたものが主流でした【①】。これに対し、今博の会場サービスアテンダントは、男女や年齢の区別をなくし、男性がロングスカートを着用することもできます【②】。このように、着用者を選ばないシンプルな形とゆとりのあるデザインで、[性別・年齢関係なく着用できる](#)もの（大阪PV、日本館他）も多く、なかには[インクルーシブ](#)対応として、車椅子のスタッフも着用しやすいもの（ノモの国、中島館）も。また、2種の帽子（日本館、ガンダムPV）、豊富な色展開（運営スタッフ、三菱未来館他）、スカーフの着用スタイル（日本館、宴PV）など、着用者個人が自由に決定できる[選択肢が多い](#)ものが見られました。そのほか、取り外し可能な袖（京都府、TECH WORLD）や、パンツとスカートを兼用（ガスPV）できるなど、シルエットを[変形できる](#)デザインも特徴の一つとして挙げられます。また、男女のヘアスタイルやメイクも自由度が高くなっています。ユニフォームは同じ形で統一されるというのではなく、今後は『[単一ではない](#)』ものも、個性の尊重として求められてゆくでしょう。



3. 日本らしさ

開催地・日本が世界に誇る伝統技術や文化を取り入れたデザインも多数。そのなかには、日本の伝統衣装である[着物](#)をモチーフとしたものが多くあり、着物のシルエットや帯などをデザイン（日本館他）に落とし込んだものや着物や帯をドレスに仕立て直したユニフォーム（パソナ）もありました。他にも西陣織（飯田グループ）、藍染（徳島県）など[伝統工芸](#)を取り入れたユニフォームも多数。日本各地の風景からインスピレーションを受けたデザイン、各地域の[特産品](#)であるスカーフ、ニット、バッグが採用されているもの（和歌山県、鳥取県、兵庫県他）。また、海外からの人気が高い忍者（三重県）や、GUNDAM NEXT FUTURE PAVILIONを筆頭に、アニメ（河森館他）の要素を取り入れたデザインもありました。日本の伝統と現代的要素の[融合](#)が感じられるラインナップとなっています。

このように今博では、個性を尊重する「多様性」というキーワードが目立ちました。前回の大阪万博はもちろん、近年の博覧会ユニフォームと比較しても自由度が高く、性差の少ない装いが印象的。今後は、一般的なユニフォームにおいても男女共通デザインや、選択肢の多いアイテム展開などが今まで以上に増えていくのではないでしょうか。

また、当然ながら機能性も欠かせません。これから夏の厳しい暑さを迎える会場での暑熱対策として通気性や吸汗速乾性の高い高機能素材（多数）はもちろんのこと、遮熱素材（宮田館）やオリジナルの空調服®（NTT）も採用されていました。暑熱対策については労働安全衛生規則の改正もあり、今後ますます取り組みが加速しそうです。

Topics

中華民国紡織業拓展会(台湾紡拓会)

パンテキスタイルフェア TOKYO 2025 渋谷にて開催

台湾紡拓会は、5月14日、15日に渋谷区・ベルサール渋谷ファーストで台湾の最新テキスタイルが揃う「パンテキスタイルフェア TOKYO2025」を開催しました。

日本市場との更なる取引推進を目指し、サステナブルと機能性をテーマに、台湾の生地メーカーや商社52社、60ブースが出展。

廃ペットボトルや廃棄漁網、廃棄衣料を使ったリサイクル素材をはじめ、マニラ麻使用の和紙糸やバイナップル繊維、回収されたカキ殻などの農業廃棄物を活用したサステナティビリティ素材や、遮熱・吸汗速乾・高通気性などに優れた猛暑対策に関連した機能性素材など、バラエティ豊かな素材が多数揃いました。

なかでも、回収されたカキの貝殻を使用した「SEA WOOL（シーウール）」は、大阪・関西万博で台湾の最新テクノロジーを体験できる「TECH WORLD（テックワールド）パビリオン」のユニフォームにも使用。協業した企業が出展し、注目を集めました。



家庭用品品質表示法

繊維製品品質表示規程が改正されました

2024年8月20日および2025年1月1日に繊維製品品質表示規程が改正され、新しい表示が適用されています。

①(1)洗濯記号の新規追加 (2)洗濯記号の意味の変更

(3)洗濯記号のデザインの微修正

2023年12月の国際規格（ISO 3758）の改正に伴い、JIS L 0001の改正が行われました。記号に対するアイロンの底面温度の意味などが変更されています。右の図表と、変更等内容の詳細は右下のQRコードから消費者庁のお知らせをご確認ください。

②(1)混用率試験では公定水分率30%を適用

(2)指定用語に「アクリレート」が追加

組成表示が従来の「合成繊維（アクリレート）」から「アクリレート」に

2024年4月の「JIS L 1030-2（繊維製品の混用率試験方法）」の改正によって上記2点の改正が告示されました。これにより、組成表示の変更が必要になる可能性があります。

なお、いずれも経過措置が適用されており、①は令和7年8月19日まで、②は令和7年12月31日までに品質表示を行った繊維製品は、そのままの表示で販売することができます。

(1)洗濯記号の新規追加

番号	記号	記号の意味(新規)
111		液温は30°Cを限度とし、手洗いができる
511		底面温度120°Cを限度としてスチームなしでアイロン仕上げができる

消費者庁
Webサイト

詳細は
こちらから



警察庁

警察官の夏服にポロシャツ型上衣を導入

警察庁は猛暑対策として、令和7年度から警察官の夏服に新たに「ポロシャツ」型の制服を導入することを決めました。警察官の制服について大幅な見直しは平成6年以降、31年ぶりとなります。



今回導入されるポロシャツは通気性・速乾性の高い、肌触りの良い生地を使用しています。長袖と半袖があり、ボタンの数と袖の形状（ラグラン袖）以外は従来のワイシャツと色やデザインは同じです。アイロンが不要で、家庭で簡単に洗濯ができるため扱いやすくなっています。従来のワイシャツは今後も継続して使用可能で、ワイシャツとポロシャツを自由に選択することができます。また、このポロシャツを5月1日から10月31までの間、埼玉県警で試行導入。実際に採用するかは各都道府県警察が判断することとなっています。

警察庁は「現場で働く警察官の勤務環境の改善につながることを期待している」としています。なお、このポロシャツは現在開催中の大阪・関西万博でも盛夏に着用される予定。暑さ本番を迎える万博会場において、熱中症リスク軽減の効果が期待されます。

警察庁 ご担当者さま より

Uniform Users Voice

近年、年平均気温が上昇し、夏季において猛暑日や熱帯夜の日数が年々増加しており、警察官の健康や安全を確保する暑熱対策が喫緊の課題となっていたことから、ポロシャツ型夏服上衣の検討を行うこととしました。

検討では、現場の警察官がより活動しやすい仕様とすることを最優先とし、nuc様からのご協力をいただき、警察官の制服では初めてとなるラグラン袖を採用するとともに、既存制服の視認性を保持しつつ、通気性、伸縮性、吸水速乾性等に長けた素材（編物）を使用したポロシャツ型夏服上衣を完成することができました。

現場職員の熱中症予防と勤務能率の向上が図れることを期待しています。

Topics

厚生労働省

労働安全衛生法に基づく省令改正 熱中症対策を義務化

厚生労働省による労働安全衛生法に基づく省令の改正が決まり、2025年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行されました。

熱中症の恐れがある労働者を早期発見し、社内で報告するための体制を整備するほか、重症化を防ぐための応急処置や医療機関への搬送などの手順を事前に作成することが求められます。また、こうした点を関係する労働者に周知することも義務化されました。気温や湿度などから算出する「暑さ指数」(WBGT) が28以上、または気温31度以上の環境で連続1時間以上か1日4時間以上作業をするケースが対象で、対策を怠った場合、法人や代表者らに6ヶ月以下の懲役、または、50万円以下の罰金が科されます。

基本的な考え方

見つける

判断する

対処する

現場における対応

体制整備

熱中症の恐れがある者を早期発見し、社内で報告するための体制を整備する。

手順作成

重症化を防ぐための応急処置や医療機関への搬送などの手順を事前に作成する。

関係者への周知

関係する労働者に周知する。

室内でも熱中症リスクあり！

暑さ指数(WBGT) とは



湿度

7

輻射熱

2

気温

1

屋外 : WBGT (°C) = 0.7 × 湿球温度 + 0.2 × 黒球温度 + 0.1 × 乾球温度

「気温」「湿度」「輻射熱」から算出し、屋外と屋内では算出方法が異なります。

WBGT値については、作業場所にWBGT指数計を設置する等により、実測することが望まれます。使用するWBGT指数計は、JIS Z8504またはJIS B7922に適合したものをおいことが求められます。実測できない場合には『熱中症予防情報サイト』等でWBGT基準値を把握しましょう。

罰則対象でなくとも、従業員の健康と安全に配慮する義務があります。改正労働安全衛生規則の施行により、熱中症に対して企業は危機感を持って対策を整備することが急務となりました。年々暑さが厳しくなっているので、熱中症対策を見直してみてはいかがでしょうか。



湿度

7

輻射熱

3

屋内 : WBGT (°C) = 0.7 × 湿球温度 + 0.3 × 黒球温度

※WBGTの単位は「°C」ですが気温とは異なる値



「職場における熱中症対策の強化について」パンフレット（厚生労働省）



STOP ! 热中症 クール
ワークキャンペーン
(厚生労働省)



熱中症予防情報サイト
(環境省)

2025年度

公益財団法人日本ユニフォームセンター
理事・監事・顧問・評議員・専門委員名簿

理事長	鈴谷 典弘	(公財)日本ユニフォームセンター	
業務執行理事	谷山 洪栄	(公財)日本ユニフォームセンター	小林 浩 (公財)日本ユニフォームセンター
理事	吉田 ヒロミ	服飾デザイナー	小田切 晋平 日本毛織(株)
	丸田 直美	共立女子大学 教授 博士	白石 和男 帝人フロンティア(株)
	石津 墾	ファッショングマニエラ	安田 哲也 帝人フロンティア(株)
	甲賀 真理子	服飾デザイナー	味澤 英樹 (株)チクマ
	石田 欧子	帽子デザイナー	乗松 研一 (株)チクマ
	嶋崎 隆一郎	服飾デザイナー	村上 文彦 ミドリ安全(株)
	大槻 真也	東レ(株)	鬼塚 達治 ミドリ安全(株)
	山村 剛	東レ(株)	伊藤 忍 アイツス(株)
	大鍛治 栄一	日本毛織(株)	西川 悟史 アイツス(株)
	北尾 哲郎	弁護士	山田 務 筑波大学 名譽教授
監事	長野 隆貴	(公財)日本ユニフォームセンター	
	藤原 典	前理事長	小西 良幸 服飾デザイナー
評議員	府上 忠	東レ(株)	今泉 善徳 イズミ産業(株)
	金田 至保	日本毛織(株)	伊藤 晴美 (株)たまき
	東 政宏	帝人フロンティア(株)	菅野 孝男 牧村(株)
	堀松 渉	(株)チクマ	西垣 武志 辰野(株)
	宗形 浩一	ミドリ安全(株)	佐藤 知弘 (株)空調服
	荒木 隆史	アイツス(株)	佐藤 恵一 東和(株)
	笠井 俊宏	帝国繊維(株)	野邑 慎二 島田商事(株)
	中本 聖	(株)ナカヒロ	岩松 正剛 新成物産(株)
	鈴木 義和	清原(株)	田伏 賢司 (株)ユニウェル
	岡崎 正夫	東洋物産(株)	池 悅子 (株)アイアンドエム
	金井 憲司	(株)三景	井上 悅希 (一財)全日本交通安全協会 事務局長
	高田 未央	(株)マークテック	櫛下町 慶子 (一財)日本ファッション教育振興協会 理事長
	田中 賢	(株)武藏富装	橋爪 紳也 大阪公立大学研究推進機構特別教授
	森村 正博	佐藤産業(株)	大阪公立大学観光産業戦略研究所長
専門委員	西山 栄子	ジャーナリスト	所 昌平 ジャーナリスト
	森 伸之	イラスト 作家	長屋 宏和 服飾デザイナー
	執行 雅臣	メンズファッション評論家	小篠 ゆま 服飾デザイナー
	大塚 陽子	ジャーナリスト	大澤 かほる (一社)日本流行色協会 色彩専門家
	嗣永 龍彦	服飾デザイナー	長谷川 貞昌 服飾デザイナー
	広島 ひとみ	服飾デザイナー	真木 喜久子 服飾デザイナー
	山口 善昭	産業組織心理学者	小野 原誠 服飾デザイナー
	阿部 恒子	服飾デザイナー	天津 豪 服飾デザイナー
	朝月 真次郎	服飾デザイナー	元木 雪恵 ユニフォームコンサルタント
	前田 修	服飾デザイナー	坂井 史治 繊維技術士
	エマ 理永	服飾デザイナー	原 由美子 ファッションディレクター
	金子 博	服飾デザイナー	五味 光弘 (一財)カケンテストセンター
	高田 祐子	服飾デザイナー	水本 一生 コンサルタント
	堀畑 裕之	服飾デザイナー	服部 勝治 コンサルタント
	加藤 徹	服飾デザイナー	古田 由佳利 服飾デザイナー
	小室 しづか	服飾デザイナー	丸龍 文人 服飾デザイナー
	永澤 陽一	服飾デザイナー	中田 優也 服飾デザイナー
	大矢 寛朗	服飾デザイナー	

(令和7年7月現在)

令和7年度事業計画

令和7年度事業計画基本方針

令和7年度は公益財団法人認定後15期目となる。デジタル技術の活用とサステナビリティを推進するとともに、ユニフォームの普及啓発、調査研究、診断相談をより活性化・進化させる。また、本年は大阪・関西万博をはじめ、A+A日本版展示会が開催されることから、高機能でファッショナブルなユニフォームが注目される年である。会員企業とともにユニフォームの持つ魅力を最大限に発信、強化しながらユニフォームの新たな採用を推進するものとする。

【全体方針】

- コンサルティング活動等による公益事業の充実、収益拡大
- ユニフォームでSDGsに貢献。ESH（環境・安全・健康）を軸とした、次世代型ユニフォームの調査・研究・開発と普及啓発活動
- 公益財団法人としてのコンプライアンス厳守に基づく組織運営
- コンサルティング事業強化のための人材採用と育成
- 業務効率向上のための環境整備

【事業別方針】

(公益事業)

- ①大阪・関西万博ユニフォームの調査研究視察ツアーの開催
- ②A+A日本版「はたらく現場の環境展」における調査・資料収集
- ③2027年横浜国際園芸博覧会向けユニフォームの調査研究
- ④繊維製品リサイクル等、SDGs達成に繋がるユニフォームの調査・研究開発の推進（対グリーンウォッシュ※環境に配慮することが大事と考えている消費者の行動を悪用して、サステナブル（持続可能）とは程遠い製品を、言葉巧みに売る戦略）
- ⑤熱中症対策関連ユニフォームの研究開発・普及活動
- ⑥高視認性安全服に関する相談助言・普及活動
- ⑦デジタル技術の活用、推進、ホームページのリニューアル

(収益事業)

- ①コンサルティング事業によるnucラベルの推進と積極的な業務活動による収益拡大
- ②特許・著作権関連の付加価値による収益拡大

(共通)

環境変化に対応したnuc事務局機能の進化、高度化、人材育成

公1 ユニフォームに関する思想の普及・啓発

【公1-1】情報誌の発行とWEBサイトの運営

情報誌 (The UNIFORM)

- 会員・ユーザー、ユニフォーム利用者に向けた積極的な情報発信、誌面内容の充実
 - ①実績紹介（着用企業への取材調査などに基づく最新情報の充実、サステナブル・SDGs関連の啓発）
 - ②会員及びユーザーへ情報誌のメール配信

WEBサイト

- ホームページの刷新／nuc及び会員の活動紹介を通じてユニフォームの魅力を発信
- ※前年度からの継続

広報対応

- 各メディア等からの取材対応

【公1-2】セミナー、展示会、ショー等の開催

- 先端技術・最新情報をテーマに設定
 - ①SDGsに関連する内容をテーマとした最新情報セミナーを開催する
 - ②会員やユーザーの要請に応じた講師の派遣を行う（繊維品質試験・SDGsなど）

【公1-3】人材・専門家の育成

- 専門資格制度の充実・資格取得の推進（リモート講習会の実施）
 - ①時勢に伴う講義内容の更新、充実を図る（SDGs関連内容等）
 - ②会員企業等からの要請に応じて個別の資格認定講習会を実施
- 学生対象：ユニフォームによる社会貢献、機能を学ぶ機会の提供（インターン等の受け入れ）

【公1-4】国内外諸団体との連携

- 関係諸団体・海外交流
 - ①公的検査機関、大阪・関西万博関連、オリンピック関連、繊維、環境、エシカルファッショント、高視認、防護、防災、宇宙航空、公正取引協会など諸団体との連携
 - ②台湾、インド、繊維関連団体との交流、海外からの視察受け入れ
 - ③大阪・関西万博ユニフォームの調査研究視察ツアーの開催（開発実績先5パビリオン中心）

公2 ユニフォームに関する調査、資料収集、研究開発事業

【公2-1】調査・資料収集

■ターゲット・目的を明確とした価値ある調査

- ①ユニフォームの意識調査
- ②WEBを活用した効率的な調査
- ③ユニフォームコンサル実績を生かした受託調査

■調査資料の効果的な公表と保存

- ①調査結果の効果的な公表（プレス発表、WEB発信）
- ②ユニフォーム資料の閲覧対応

■その他

- A+A（国際労働安全衛生展・会議）日本版「はたらく現場の環境展」（インテックス大阪）における調査・資料収集

【公2-2】研究開発

■研究開発の充実

（自主研究）

- ①2027年横浜国際園芸博覧会向けユニフォーム調査研究
- ②熱中症対策関連の研究開発及び普及促進（洗える制帽、空調服、冷却下着・保冷ベスト・ペルチェ素子ベスト等）
- ③サステナブル・ユニフォームの仕様書・パターン開発
- ④ユニフォームのサイズ選定システムの提案
- ⑤3DCGモデリング技術を活用したユニフォーム提案

（受託研究）

- 団体、企業、学術機関などからの委託によるユニフォームの研究開発
- *研究開発に係る知的財産権の申請及び維持

【公2-3】基礎研究助成

- 研究助成制度（デジタル関連・SDGs関連・防災関連他）随時募集
随時募集情報の発信

公3 ユニフォームに関する診断、相談、助言

【公3-1】診断・相談・助言

■診断・相談・助言レベルの向上と対象拡大

- ①特殊環境・危険な環境等で着用するユニフォームの改善
- ②ユニフォームのサイズ選定システムの提案
- ③ユニフォームに関する各種問題への対応
- ④ユニフォーム制作プロセス別の相談対応
 - ・nuc相談窓口のPR活動。サステナブル・ユニフォーム、公正取引関連等の相談対応
 - ・リモート会議による診断・相談・助言対応
- ⑤企画相談対応・縫製工場の紹介と監修

【公3-2】監修・指導

- ユニフォームの品質向上のための生産・流通に係る監修指導
 - ①縫製指導、サイズ検査、素材品質管理指導などのアフターフォロー
 - ②公的外部検品機関との連携で、検品監修レベルの向上を図る

収益事業・その他の事業

【収益事業I】

- nucコンサルティング製品への各種nucラベルの提供
 - ①nucサステナブルラベル（旧nucエコロジーウエアラベル）
 - ②nucサステナブル・シールラベル
 - ③nuc・SWラベル

【収益事業II】

- ユニフォームに関する物品の斡旋
 - ①既製品ユニフォーム及びカスタマイズ仕様の斡旋
 - ②ユニフォームアクセサリーの提案、斡旋
 - ③オリジナルラッピング、ネームプレートの提案、斡旋

【収益事業III】

- ユニフォームに関するデザインの提供

その他の事業

- 写真撮影など

事務局ニュース

Topics 1 ▶ nuc会員 新規入会情報

下記2社が新しく入会されました。入会にあたりメッセージを頂戴しておりますので、ご紹介いたします。

普通会員

東洋紡せんい株式会社

東洋紡せんい株式会社です。ユニフォーム事業部では、ワーキング・サービス・オフィスユニフォームなど幅広い分野で事業を開拓しております。

素材から製品・物流機能を含めた一貫体制で、お客様のニーズに合った快適商品を提案させて頂きます。nuc会員の皆様、今後共宜しくお願ひ致します。

普通会員

御幸毛織株式会社

御幸毛織株式会社です。

東洋紡グループの一員として紳士服・紳士服地・制服生地・糸の製造販売を担っています。

今年は創業120周年の節目の年となります。『愛する服を。』をキャッチフレーズとして、皆さまのご希望に沿った商品開発・提案を進めてまいります。

Topics 2 ▶ 令和7年度ユニフォーム専門資格認定制度〈中級〉WEB講習会開催のご案内

本年度は、11月に資格認定制度〈中級〉WEB講習会を開催いたします。〈中級〉講習会は隔年開催のため、次回は令和9年となる予定です。皆さまのお申し込みをお待ちしております。日程等に変更がありましたら、改めてお知らせいたします。

■講習会日時

令和7年11月13日(木) 10時00分～16時30分 予定

■講習内容（予定）

- ①ユニフォームマーケット ②ユニフォームの生産と流通 ③ウールユニフォームマテリアル
④合纖ユニフォームマテリアル ⑤JIS T 8127 高視認性安全服

■受講資格

ユニフォーム専門資格認定制度〈初級〉を取得し、1年間の実務経験を積んだもの

■申込締切日

令和7年10月17日(金)

nuc 入会のご案内

nucでは入会を希望される方に当法人の設立趣意書や案内書をお送りいたします。事務局までお申し出下さい。

ユニフォームの生産および販売、服飾品、付属品関係およびユニフォームの関連商品の販売や研究者、また研究団体などにおすすめします。

ホームページアドレス <http://www.nuc.or.jp>

nucではホームページのバナー広告を募集しています。お問い合わせは事務局まで。

THE UNIFORM 第57巻3号／夏号 通巻607号

2025年6月30日発行

発行所 公益財団法人 日本ユニフォームセンター

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-4-21 電話03(3401)2111(代)

発行人 篠谷 典弘

編集担当 佐藤 比奈乃、山崎 真梨奈／清水 徳子

企画・編集協力・印刷 (株)丸井工文社

定価630円 年間購読料2,380円(nuc会員の場合は、会費の中に購読料が含まれています)

本誌掲載の記事は、写真等無断複写、複製、転載を禁じます。

ユニフォーム相談窓口

当法人では、ユニフォームに関するあらゆる諸問題におこたえする
ユニフォーム無料相談窓口を開設しています。

お気軽にお電話下さい。

03-3401-2111

APPM™

Apparel Parts Market



APPMは清原株式会社が運営する
アパレル向け副資材専用のBtoBオンラインサービスです。
どなたでもご利用頂けます！

清原株式会社

<https://www.kiyohara.co.jp/>

暑さと闘う人たちへ
「信頼」と「実績」の
空調服®

元サッカー日本代表 中澤佑二

2025年空調服。導入事例



KUCHOFUKU WORK STYLE

さまざまな業種での
具体的な導入理由/
導入効果など
ご覧いただけます。



株式会社空調服

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11ヘリオスIIビル4F
tel:03-5916-5330
<https://www.9229.co.jp/>

掲載商品は、㈱セフ研究所・㈱空調服の特許及び技術を使用しています。
「空調服」は㈱セフ研究所・㈱空調服のファン付きウェア、その附属品、及びこれらを示すブランドです。
「空調服」「KUCHOFUKU WORK STYLE」は、㈱セフ研究所・㈱空調服の登録商標です。